

## 1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成 20年 9月 17日

## 【評価実施概要】

|       |   |       |            |
|-------|---|-------|------------|
| 事業所番号 | 2872600404                                  |       |            |
| 法人名   | 社会福祉法人真秀会                                   |       |            |
| 事業所名  | グループホームなごやか                                 |       |            |
| 所在地   | 〒675-2105 加西市下宮木町576番地<br>(電話) 0790-49-0080 |       |            |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人福祉市民ネット・川西                         |       |            |
| 所在地   | 川西市中央町8-8-104                               |       |            |
| 訪問調査日 | 2008年6月25日                                  | 評価確定日 | 2008年9月17日 |

【情報提供票より】(20年6月1日事業所記入)

## (1) 組織概要

|       |              |                       |       |
|-------|--------------|-----------------------|-------|
| 開設年月日 | 平成 16年 4月 1日 |                       |       |
| ユニット数 | 3 ユニット       | 利用定員数計                | 27 人  |
| 職員数   | 26 人         | 常勤 13人, 非常勤 13人, 常勤換算 | 4.93人 |

## (2) 建物概要

|      |       |        |
|------|-------|--------|
| 建物構造 | 鉄骨    | 造り     |
|      | 4階建ての | 2~4階部分 |

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |             |                |              |
|---------------------|-------------|----------------|--------------|
| 家賃(平均月額)            | 18,500 円    | その他の経費(月額)     | 管理共益費34,500円 |
| 敷金                  | 無           |                |              |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有(150,000円) | 有りの場合<br>償却の有無 | 有            |
| 食材料費                | 朝食          | 320 円          | 昼食 430 円     |
|                     | 夕食          | 430 円          | おやつ 120 円    |
|                     | または1日当たり 円  |                |              |

## (4) 利用者の概要(6月1日現在)

|       |        |        |        |
|-------|--------|--------|--------|
| 利用者人数 | 26名    | 男性 4名  | 女性 22名 |
| 要介護1  | 8名     | 要介護2   | 10名    |
| 要介護3  | 6名     | 要介護4   | 0名     |
| 要介護5  | 2名     | 要支援2   | 0名     |
| 年齢    | 平均 84歳 | 最低 55歳 | 最高 98歳 |

## (5) 協力医療機関

|         |          |
|---------|----------|
| 協力医療機関名 | みのりクリニック |
|---------|----------|

## 【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

・「住み慣れた地域で共に楽しく仲良くなごやかに生活できるよう支援する」の理念に沿い、職員は常に笑顔で利用者に向き合っている。日常生活の中では個々の利用者の出来ることや楽しみを引き出す努力をし、生き生きと過ごしてもらえるよう、寄り添うことを心がけている。地域の行事への参加やホームを開放しての交流参加などはまだまだ十分とはいえないが、運営推進会議を利用して積極的に働きかけ、地域に根ざした交流となる努力が期待される。

## 【重点項目への取組状況】

|      |   |
|------|---|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)   |
|      | ・職員が、利用者と一緒に同じ食事をすることの重要性を検討中である。<br>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)<br>・自己評価は、出来ること、出来ないこと、継続していけることを柱にフロア長がまとめた。職員は普段は業務に追われているが、自己評価を通して振り返り初心にもどる貴重な機会となり、改めて問題点が見え気づきを得られた。 |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)   |
|      | ・ホームからは、サービス内容の説明や現状報告などを行い、現状の理解をうよう努めている。市担当職員からは、議題の提案、制度等に関する情報を提供してもらっている。今後は、サービス内容や質の向上についての意見や批判をもらうことを考えている。   |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)   |
|      | ・家族会は、家族間の交流やホームへの要望等を出してもらう貴重な機会と捉えているが、参加家族は半分ほどで固定化している。個々の来訪時に、ホームからも積極的に話かけ聞き出すよう努めている。  |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)   |
|      | ・ホーム主催の行事には、老人会やボランティアが協力し盛り上げている。地元の高校生が学習の場として訪問交流している。利用者の友人や知り合いが来訪することもあり、地域の行事にもできるだけ参加するようにしている。   |

## 2. 第三者評価結果票

| 第三者                          | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)              |
|------------------------------|----|--|--|---------------------|--|
| <b>.理念に基づく運営</b>             |    |  |  |                     |  |
| <b>1. 理念と共有</b>              |    |  |  |                     |  |
| 1                            | 1  | 地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている    | ・独自の基本理念の中に、「住み慣れた地域で、共に楽しく仲良くなごやかに生活できるよう支援する」を掲げ、家族や友人の行き来によって地域に開放的なホームを目指している。               |                     |  |
| 2                            | 2  | 理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                       | ・毎朝朝礼で確認したり、職員が個々に振り返る時の原点としている。みんながなごやかに仲良く過ごせるよう日々取り組んでいる。                                     |                     |  |
| 3                            | 5  | 地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | ・地域行事に招待される時には全員で参加している。ホーム主催の行事には老人会やボランティアの協力を得ながら、地域住民に開放し交流する機会としている。地元高校生の学習の場にも利用してもらっている。 |                     | ・地域との交流は、ホームからの働きかけやきっかけづくりが大切で継続的に努力していただきたい。 |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |    |  |  |                     |  |
| 4                            | 7  | 評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる  | ・自己評価はフロア長が出来ること、出来ないこと、継続していけることで整理しまとめた。日々の業務を振り返り、初心にもどることであらためて問題点が見え、気づきが職員個々からあがった。        |                     |  |

| 第三者                    | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|----|--|---|---------------------|-----------------------------------|
| 5                      | 8  | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>              | <p>・地域代表者と住民等、民生委員、家族会代表者、市担当者にホーム関係者が出席して、2ヶ月に一回開催している。ホームからはサービスについての説明や現状報告が主で、市担当者からは議題の提案、情報提供をもらっている。</p> |                     |                                   |
| 6                      | 9  | <p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>                                  | <p>・市の主導により発足した市内事業所の連絡会に職員も参加して行っている。施設持ち回りの運営で、ホームの要望を伝えている。</p>  |                     |                                   |
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |    |  |   |                     |                                   |
| 7                      | 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>                              | <p>・毎月定例的に、利用者の日常の様子や近況を担当者が報告している。状態変化や医療面での連絡は随時電話で行っている。</p>   |                     |                                   |
| 8                      | 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>                                | <p>・家族会は年3回行っており、意見を出してもらうよう働きかけているが、参加家族は固定化し参加数は半分ほどである。普段の来訪時にホームから積極的に意見をもとめるよう努めている。</p>                   |                     |                                   |
| 9                      | 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>・職員の異動はしないよう努力している。利用者へのダメージをふせぐために、職員間でカバーし合っている。</p>   |                     |                                   |

| 第三者                              | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|---|---|---------------------|-----------------------------------|
| <b>5. 人材の育成と支援</b>               |    |   |   |                     |                                   |
| 10                               | 19 | 職員を育てる取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている                | ・外部研修には、毎年2名の職員が参加し、結果報告により全職員で周知している。新人研修及び嚙下体操や口腔体操などの基本技術は、年間通して内部研修で行っている。                |                     |                                   |
| 11                               | 20 | 同業者との交流を通じた向上<br><br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている      | ・月に1回開催されるグループホーム連絡会に出席している。参加施設からは問題提起や行政の要望もある。勉強会や他施設との交流も行われている。職員間で持ち帰った報告を受け話し合っている。    |                     |                                   |
| <b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>         |    |   |   |                     |                                   |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |    |   |   |                     |                                   |
| 12                               | 26 | 馴染みながらのサービス利用<br><br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | ・入居前に利用者や家族に情報提供し、見学、体験入居で本人の納得をうよう時間をかけて支援している。利用者の現状や入所前の環境を把握し、家族にも協力してもらっている。             |                     |                                   |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |    |   |   |                     |                                   |
| 13                               | 27 | 利用者と共に過ごし支えあう関係<br><br>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている                    | ・職員間の年齢幅もあり、利用者との関わり方も多様である。利用者と一緒に行動することで、同じ喜びや感動を体験できることを、日々実感している。少しでも長く寄り添う時間を持てるよう努めている。 |                     |                                   |

| 第三者                              | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|--|---|---------------------|-----------------------------------|
| <b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |    |  |   |                     |                                   |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>               |    |  |   |                     |                                   |
| 14                               | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>   | <p>・些細なことにも声かけをし、気持ちを聞いて本人の意向をたしかめるよう努めている。意向が把握しにくい人にはこまめに声をかけ、表情や口の動きなどで気持ちを測ったり、筆談したりしている。</p>         |                     |                                   |
| 15                               | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>     | <p>・センター方式により、利用者自らの思いやしたいことを自分の言葉で書いてもらっている。本人の意向や希望が表せるよう家族とは常に相談している。</p>                              |                     |                                   |
| 16                               | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>・利用者の失禁回数、むせ、足元のふらつき等状態変化に応じてカンファレンスを行い、計画の見直しをしている。利用者の夜間の状態変化に注意し、申し送り時で確認している。</p>                  |                     |                                   |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>         |    |  |   |                     |                                   |
| 17                               | 39 | <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>                                   | <p>・希望者は併設のデイサービスに参加したり、特浴を利用したりできる。医療連携体制を活用して、看護師との連携で急変時もすぐ対応できる体制が整っている。地域対象の認知症相談窓口を作る検討がなされている。</p> |                     |                                   |

| 第三者                             | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------|----|--|--|---------------------|-----------------------------------|
| <b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |    |  |  |                     |                                   |
| 18                              | 43 | <p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>               | <p>・大半の利用者は協力医院を主治医としている。協力医の往診は月2回、検診は協力医院で年2回行っている。かかりつけ医の受診は家族が対応し、特変時は事業所で受診を支援している。</p> |                     |                                   |
| 19                              | 47 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> | <p>・経口摂取できる場合は希望に応じターミナルまで対応できる。利用開始時と状態変化時には、本人、家族と話し合っている。職員間でも対応方針を共有している。</p>            |                     |                                   |
| <b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>  |    |  |  |                     |                                   |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>          |    |  |  |                     |                                   |
| (1)一人ひとりの尊重                     |    |  |  |                     |                                   |
| 20                              | 50 | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>                           | <p>・羞恥心やプライドに配慮して声かけや対応している。個人情報の取り扱いについて、職員は入職時に研修している。</p>                                 |                     |                                   |
| 21                              | 52 | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>             | <p>・職員は利用者一人ひとりと買い物や散歩に行く。もう少し待ってという言葉を言わないで希望に直ちに対応するよう努めている。</p>                           |                     |                                   |

| 第三者                           | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                   |
|-------------------------------|----|--|--|---------------------|---|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |    |  |  |                     |   |
| 22                            | 54 | 食事を楽しむことのできる支援<br><br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | ・月一回のバイキングや誕生日会に家族を招待して一緒に食事を楽しんでいる。昼食をホームで調理する日を作り、既製の食事サービス利用をカバーしている。 |                     | ・献立作りから後片付けまで利用者のできることが多くあるので、事業所で調理し、職員も利用者と一緒に食事が楽しめるような方向が取れないか。 |
| 23                            | 57 | 入浴を楽しむことができる支援<br><br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | ・基本は週二回午前中が入浴時間だが、希望があれば随時入浴できるようにしている。                                  |                     |   |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |    |  |  |                     |   |
| 24                            | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br><br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | ・畑仕事や、ホーム内の生け花、掲示物を墨で書く等、一人ひとりの力を活かした役割や楽しみごとの支援や買い物、ドライブ等の希望に応じている。     |                     |   |
| 25                            | 61 | 日常的な外出支援<br><br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | ・コンビニやスーパーへ買い物に行ったり、気分転換に散歩、ドライブをしている。全員で外食を楽しむこともある。                    |                     |   |
| (4) 安心と安全を支える支援               |    |  |  |                     |   |
| 26                            | 66 | 鍵をかけないケアの実践<br><br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | ・安全のため玄関の施錠をしている。出かけた様子の方には、畑に同行したり、ベランダや屋上を一緒に歩いて気を紛らわすようにしている。         |                     | ・利用者に閉塞感を与えることがないよう事業所で話し合っ、施錠が当たり前でない取り組みの工夫を望みたい。                 |

| 第三者                            | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|----|---|--|---------------------|-----------------------------------|
| 27                             | 71 | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>                                 | <p>・年2回夜間想定避難訓練を行っている。<br/>救急救命士の資格を持っている職員もいる。</p>  |                     |                                   |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援      |    |   |  |                     |                                   |
| 28                             | 77 | <p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>                                   | <p>・食事摂取と水分摂取量を記録し、摂取量が少ない人については、医師と相談して補助食品を提供している。水分は好みの飲み物や回数を増やす工夫している。</p>                    |                     |                                   |
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> |    |   |  |                     |                                   |
| (1)居心地のよい環境づくり                 |    |   |  |                     |                                   |
| 29                             | 81 | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>・共有のスペースは窓が広く、自然光が取り入れられ、空気が流れて季節の移り変わりが楽しめる居心地いい場となっている。和室コーナーはくつろいでテレビを見たり洗濯物たたみにも使われている。</p> |                     |                                   |
| 30                             | 83 | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>                     | <p>・馴染みの品を持ち込んで心地よく過ごせる場となっている。冷蔵庫やお茶の道具を置いたり、手工芸の好きな人は自作を居室に飾り楽しんでいる。</p>                         |                     |                                   |

 は、重点項目。